



2019年7月1日

各 位

会社名 株式会社 さいか屋
代表者名 取締役社長兼社長執行役員 岡本 洋三
(コード番号 8254 東証第二部)
問合せ先 企画開発本部総務部長 宮本 貴司
(TEL: 046-845-6814)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社の株式につきまして、2019年6月の月間平均時価総額および月末時価総額が10億円未満となりましたので、今後の当社の事業に関する見通し等につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2019年6月の月間平均時価総額および月末時価総額が10億円未満となりました。東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文では、9ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所へ提出しない場合にあつては、3ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額および月末時価総額が10億円以上にならないときは、上場廃止になる旨規定されています。

(ご参考)

(1) 当社株式の2019年6月の月間平均時価総額 987,153,612円

(2) 当社株式の2019年6月28日現在の時価総額 965,676,712円

(2019年6月28日終値308円×2019年6月28日上場株式数 3,135,314株)

2. 今後の見通しについて

百貨店業界におきましては、高額消費とインバウンドが好調な都市圏に比べ、地方では依然として業績の厳しい状況が続いております。当社グループでは、中期経営計画の2年目となる2019年2月期は、基幹店の藤沢店において、売上高が前年実績を上回るなど、これまで実施した諸施策の効果が着実に出てきております。更に一部テナント化に伴う賃料収入も増加しております。しかしながら、2019年4月11日開示の「2019年2月期 決算短信」でお示ししましたとおり、全社として売上高が前年を下回っております。このような状況の中、当社グループでは、2019年5月21日開示の「2020年2月期計画」実現に向けた施策実行に全社を挙げて取り組んでおります。

今後におきましては、「2020年2月期計画」でお示ししました、業務およびコストの可視化による「大幅な固定費削減」と、営業力強化のための基盤整備により可能となった「新たな営業施策の実行」を着実に実行することにより、早期に黒字化を実現し、企業価値の向上をはかっていくことで、引き続き、東京証券取引所における上場を維持するよう最大限努力してまいります。

また、今後3ヶ月以内に「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上